

# 校長室だより

平成22年(2010年)5月17日



校長 箱家 勝規

## 言葉の力

先日、ある講演会で、元NHKアナウンサーの山根基世さんのお話を聞く機会がありました。ご存じの方がおられることと思います。そこで、印象に残った内容がありますので、少しご紹介をします。

人は「言葉」を交わすことによって、心を通い合わせることができ、それはとても心地よい体験なのだ子どもたちに知ってほしい。

まさしくその通りだと思いました。

中学生を見ていますと、ちょっとした言葉から誤解をしたり、腹を立てたりして、トラブルが発生していることがあります。後で、ゆっくり話し合えば、「何だ。そんなことか」と思うことも少なくありません。相手の気持ちをきちんと言葉で聞いて、理解できた時には、自分が今まで怒っていたことがすっとおさまることもあります。

反対に、相手のいやがること、陰口、悪口を言って、そのために喧嘩をしたり、修復がなかなかできなくなることもあるでしょう。



いずれの場合も、『言葉』で人の感情は左右されてしまいます。そういう意味で、言葉には、人の心を動かす力があるといえます。言葉を大事にすれば、人と心を通い合わせることができるのです。

それを、山根基世さんは、『言葉の力』とおっしゃっておられます。

人の心をもっとも表す言葉は、『あいさつ』だと思います。だからこそ、「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」「すみませんでした」という言葉が、日常的に使えるように子どもたちになってほしいと思っています。心を素直に表すことができれば、人と人の関係はきっとよい方向につながっていくでしょう。

『言葉』は、人間関係も豊かにしてくれるはずです。

14日(金)のPTA総会でこのような話をしました。

本校のホームページをリニューアルしました。まだ、試験運用中ですが、是非ご覧いただきますようお願いいたします。 <http://www.otsu.ed.jp/ktoj/>